

# 創業 90 周年にあたり、創業 100 年に向けて

---

## 創業 90 年の重みとは

この度当社は、創業 90 周年を迎えました。創業 100 年を超える自動車メーカーは 3 社、他は 90 年未満なので結構な歴史を持っていると改めて気付かされます。

帝国データバンクの統計データによると、企業の 20 年後の生存率は約 52%となっています。これは比較的企業規模の大きい会社が調査対象になっているようです。

日本の中小企業の“生存率”はどの程度なのでしょうか。

計算法や調査母体によっても、さまざまな数字が取り沙汰されていて、中には国税庁の数字として 30 年続く確率は 0.021%という数値がネット上で散見されますが、どうも根拠がなく都市伝説のようになっているようです。

経済は 30 年周期で変動し企業寿命 30 年説が通説とされる中、数多くの企業が現れては消えるこの浮き世において 50 年、100 年会社を生存させるというのは、決して簡単なことではないことは間違いありません。



## 90 年間ガスケット一筋

当社は、90 年間内燃機関用のガスケット一筋で商売をしてきました。

長く続いているだけで優良企業だというつもりは毛頭ありませんし、今後も保証されている訳でもありません。

しかし、それぞれの時代において顧客のニーズに応える為の挑戦をし、実力と信頼がなければ生き残れなかったのも事実でしょう。懸命に生きた先人の苦勞があり、紆余曲折を経て今があるのだと思います。この辺りを毎月「Cherry History」に掲載しています。今まで創業から 20 年間程度の話を紹介していますが、今後も掲載していきますので引き続きご覧頂ければと存じます。

## 当社を取り巻く環境について

現在、自動車業界は 100 年に一度の大変革期を迎えています。

脱炭素社会の実現に向けて電気自動車 (EV) や燃料電池自動車 (FCV) にシフトしつつあります。

これは、ガスケットがエンジンパーツという絶対不可欠な存在でなくなるということの意味します。

では、ガスケットはどんどん市場から無くなっていくのでしょうか。

今後 EV 化の影響はあるでしょうが、極端な心配はしておりません。

特に当社は、商用車をはじめ建機・産機等の中大型系ディーゼルエンジンの部品を主力としています。農機・船舶・発電機など、馬力のあるエンジンの需要はまだまだ旺盛であり、とりわけ補修用のガスケットはこれからの時代も必要とされ、当社が活躍できる場は多いと考えています。

音楽がレコードから CD を経て現在ストリーミング (配信) が主流になっても、レコード・CD を購入する人は相当数います。一時は消滅寸前に追い込まれたレコードも今や CD の売上に肩を並べるくらいに復権してきたようです。ガスケットは、これから先レコード・CD 以上に残っていく存在であることは確かでしょう。

## 創業 100 年に向けて

足元は、ロシア・ウクライナ戦争や上海ロックダウンの影響はあるものの、コロナ禍からの回復基調の中でかなりの注文を抱えています。

しかし、これもまた潮目が変わればいつどうなるか分かりません。

EV 化の影響によりガスケット市場の規模は徐々に小さくはなっていきます。創業 100 年に向けてこれから 10 年ありますが、当社にとって今迄よりも難しい時代になることは間違いありません。100 年といえども一つの区切りに過ぎませんが、更に危機意識を持って臨んでいく所存です。

培った技術・経験を基に新たな分野にも取り組んでいます。その一つの実績が EV 用の二次電池部品です。しかし、根幹はあくまでガスケットです。そのガスケットの性能・品質向上に向けてこれからも挑戦は続きます。